

排水設備等工事関係チェックシート

東浦202104版

- ※責任技術者の責任においてチェックすること。
- ※該当のある・なしに関わらず、確認したらチェックしてください。
- ※申請時と完了時に他の書類と合わせて提出ください。

確認番号	
指定工事店	
責任技術者名	

〔排水設備等計画確認申請書〕

<input type="checkbox"/>	申請区分、工事の種類には、該当に○をつける。
<input type="checkbox"/>	水道量水器番号を記入する。新設・増減径の場合は空白でよい。複数ある場合は、別紙としてもよい。
<input type="checkbox"/>	設置場所は公図等で確認し、敷地地番をすべて記入する。また、敷地の面積を確認する。（所有権移転や分合筆等から1カ月以内であったり、地番の一部を敷地とする場合などは、資料を求めることがあります。）
<input type="checkbox"/>	工事施工期間の完了日を記入する。（この期日までに工事が完了しないときは連絡してください。）
<input type="checkbox"/>	営業用汚水・工業用汚水の場合、日最大、月平均の汚水排出量を記入する。
<input type="checkbox"/>	使用者、建物・土地所有者は申請者と同じ。異なる場合、該当欄に記名があり、この申請に承認があること。
<input type="checkbox"/>	以下の書面の添付が必要かどうかを確認する。 公共汚水ます等設置申請書（下水のみで道路占用のときは、設置工事申請図、公図、位置図、保安施設図各1部を添える）、 基準を満たさない施工がある場合の「基準外施工に係る確約書」、 除害施設を設置する場合は、仕様書・構造図等（グリース阻集器は「除害施設（グリース阻集器）の設置に係る確約書」、 排水設備を共同で使用する場合の排水設備等管理人選定届
<input type="checkbox"/>	確認の通知後に、排水ルートの変更等の大きな設計変更をしようとするときは事前の相談を要することを、承知している。（「排水設備等確認事項変更届」を求める場合がある。）

〔排水設備調書〕A4サイズ

<input type="checkbox"/>	記入項目の内容は、排水設備等計画確認申請書と同じである。
<input type="checkbox"/>	見取図は、1/2500程度で、北を上方にする。また、設置場所を朱色でマーキングする。
<input type="checkbox"/>	「公共汚水ます・取付管の状況等」、「主な用途」、「工事種類」のチェック項目は、もれなく確認する。

〔平面図（申請）〕A4サイズ（必要に応じてA3サイズ）

<input type="checkbox"/>	敷地は全体を、また、面する道路の情報（歩道・側溝・道路幅員、道路の後退・拡幅等）を書き入れる。
<input type="checkbox"/>	方位、縮尺等を記入する。（縮尺は1/200以上を標準とし、必要に応じてこれ以下としてよい。）
<input type="checkbox"/>	公共汚水ますは、道路の中心線から2m以上確保されていることを確認する。 また、土木課「道路拡幅計画」にある路線（東浦町ホームページに掲載されています）については、その計画路線幅の1/2以上を現道中心線から確保されていることを確認する。 既存の公共汚水ますが、上記を確保されていないときは、下水道事業へ連絡する。
<input type="checkbox"/>	公共汚水ますと取付管の位置を書き入れる。（敷地界・本管との距離など）
<input type="checkbox"/>	以下を確認している。 ・汚水配管は 赤色で（宅内配管、器具記号、公共汚水ますと取付管も含む） ・雨水配管は 緑色で ・新設は 実線で 既設は 破線で 文字は 読みやすい適当な大きさと ・排水に係る構築物等（阻集器、排水溝、雨水貯留施設等）があるときは記入する。 ・既設浄化槽撤去・転用があるときは位置を 破線で（完了図にも記載を残す） ※既設管を使用している場合は、責任技術者が十分調査し、使用に耐えるものであることを確認すること。 ※設計・施工にあたっては、社団法人日本下水道協会の排水設備責任技術者講習テキストを参照のこと。 ※関係法令等に定められている技術上の基準に従い、耐震性、施工、維持管理及び経済性を十分に考慮した設備であること。

（裏面に続く）

